

耳鼻咽いんこう科初期研修カリキュラム

【研修目標】

一般目標 GIO :

救急外来や担当患者において耳鼻咽いんこう科領域の初期対応ができるようになるために、耳鼻咽いんこう科領域の解剖と疾患を理解した上で、診察・検査・診断法を習得する。

行動目標 SBOs :

- (1) 耳鼻咽いんこう科領域の解剖、疾患を説明する。
- (2) 耳鏡・鼻鏡・舌圧子を使い、所見を観察する。
- (3) 標準純音検査の結果を把握する。
- (4) 平衡機能検査ができ、結果を把握する。
- (5) 手術の適応、術式を理解した上で、方針を把握する。
- (6) 手術に参加し、手術手技を理解する。

【研修方略】

研修期間 : 1～2 週間

研修内容 :

外来診療において、診察の見学、シュライバー、診察を適宜行う。

病棟回診の見学、入院患者の診察を行う。

手術の見学、または助手として参加する。閉創など簡単な手技を実行する。

週間スケジュール :

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟回診	外来	外来	病棟回診	外来	外来
午後	検査	手術	検査	手術	検査	

【研修評価】

以下の項目に対して、形式的に観察記録をもって上級医もしくは指導医が行う。

- 1 耳鼻咽いんこう科領域の解剖、疾患を説明する。
- 2 耳鏡・鼻鏡・舌圧子を使い、所見を観察する。
- 3 標準純音検査の結果を把握する。
- 4 平衡機能検査ができ、結果を把握する。
- 5 手術の適応、術式を理解した上で、方針を把握する。
- 6 手術に参加する。